

第2次 地域福祉計画の 素案ができました

地域福祉計画とは、高齢者や障がいのある方を含めたあらゆる方が、地域で自立した生活を送ることができるよう、地域で支えあう社会福祉サービスシステムを作るための計画です。

市では、平成13年度に全国社会福祉協議会のモデル事業として策定した計画をベースに、平成14年度に第1次計画（計画期間平成15年度から平成19年度）を策定し、住民参加による地域福祉の推進を図ってきました。

今回の計画では、更なる地域福祉の推進に向けて、第1次計画で主体的に活動した168人（ひろば）委員会のメンバーなど各関係者による計画の評価活動をふまえ、3つのテーマ別意見交換会を設置し、検討を重ねてきました。

このたび、「高浜市地域福祉計画策定委員会」の審議を経て、「素案」がまとまりましたので、お知らせします。

「素案」については、市内各施設などで配布します。また、市のホームページからも入手できます。

素案に対する パブリックコメントの実施

今回の第2次地域福祉計画（素案）に対する意見・要望を募集します。お寄せいただいた意見など

は策定委員会に報告し、検討したうえで計画に盛り込んでいきます。なお、お寄せいただいた意見については、後日、意見の採否やその理由などの概要を公表します。

入手方法

1 窓口での配布

高浜市第2次地域福祉計画の策定体制

多様な担い手の参加による計画の策定

地域福祉計画策定委員会

意見 ↑

↓ フィードバック

地域福祉推進のためのテーマ別意見交換会

意見交換会①

- テーマ 多様な主体による福祉活動の促進と協働による課題解決の仕組みづくりについて
- 主な活動や意見
 - ・「人材」「交流」「情報」のワーキンググループに分かれて活動
 - ・まちの人（主役）を「ちょっとした助け合い」（ボランティア）に導くプログラムを作成・提供する「仕掛け屋」（中間支援組織）の必要性
 - ・既存のグループなどの交流の場づくりを仕掛けるセンター機能を持つ組織の設置の必要性
 - ・地域活動や福祉関係機関の紹介や施設のイベントなど、さまざまな情報を取扱う情報支援センターの必要性 など

意見交換会②

- テーマ 地域福祉推進のための福祉専門機関の役割（基盤強化）について
- 主な活動・意見
 - ・分野別（高齢・障がい・若年【子ども】）に分かれて活動
 - ・2次計画に盛り込みたいことを議論し、重点課題を決定
 - ＜重点課題＞
 - ・専門職と住民との新たなネットワークの構築
 - ・ライフステージに応じた福祉の学び
 - ・施設の地域デビュー
 - ・住民の自主グループ育て

意見交換会③

- テーマ 要援護者の見守り・声かけ活動等について
- 主な活動・意見
 - ・各まちづくり協議会や各関係団体などの地域の見守り・声かけ活動の現状分析・今後のあり方について検討

いきいき広場、市役所（市民生活グループ）、中央公民館（市民センター）、各地区公民館、図書館

2 郵送

地域福祉グループに郵送先を連絡してください。

3 ホームページ

市公式ホームページからダウンロードしてください。

募集期限

7月1日（水）から8日（水）まで（郵送の場合、当日消印まで有効）

応募方法

次の方法で意見などをお寄せください。

- ① 素案配布場所に設置してある「意見箱」へ投函してください。
- ② 地域福祉グループへ郵送かファクスで提出してください。
- ③ 電子メールにて提出してください。

※提出にあたっては、次の事項を明記してください。

氏名、住所、電話番号、資料の記載箇所、意見とその理由
提出先・問合せ先

いきいき広場内地域福祉グループ
〒441-1334

春日町五丁目165番地

☎ 52-9871 FAX 52-7918

電子メール

tukushi@city.takahama.lg.jp